

海外出張報告書

2017年11月29日

出張者氏名	松本 果楠子
所 属	農学部 食品化学研究室
出張期間	2017年9月7日～10月29日
出張先	韓国 ソウル大学
目 的	共同研究

内 容

韓国ソウル大学の Jeong-Yong Suh 先生（代謝ゲノミクス部門 特任教授）の研究室に2ヶ月間（平成29年9月7日～10月29日）滞在する機会を得て、共同研究を実施しました。

現在、我々の研究室では、抗アミロイド凝集作用を示す化合物のスクリーニング系の構築を目的として、様々なアミロイドジェニックタンパク質の発現に取り組んでいます。アルツハイマー病の原因物質の一つとして、アミロイド β ペプチド（A β ）が挙げられます。A β はアミロイド β 前駆体タンパク質（APP）が2種類の酵素の切断により生じ、脳内で凝集・沈着することでアルツハイマー病発症に関与することが報告されています。そこで今回、私は APP を標的とした実験系の構築を目的として、同タンパク質の組換え体の発現に取り組みました。滞在期間中において、His-Tag 融合 APP の作製には成功したものの、APP 単体を精製するまでには至りませんでした。帰国後もいまだ試行錯誤の段階ですが、Suh 先生だけでなく、研究室の方々から沢山の助言と励ましを頂きましたので、今後の研究に活かしたいと思います。

ソウル大学で研究を進めるにあたり、博士課程の学生から、組換え実験の基本的な知識から実験手法まで丁寧に教えて頂きました。学部4年生である私にとっては、不慣れなところも多かったため、はじめの2～3週間でじっくりと基礎的なことを再度学べたことは大変助かりました。また、研究室のメンバーの方々には、私生活においてもサポートしていただき、不自由なく充実した生活を送れることができました。

最後になりますが、今回の派遣事業に関して多大なるご支援を頂いたバイオメディカル研究所に感謝するとともに、留学中にお世話になった Suh 先生、および研究室メンバーに感謝いたします。



研究室メンバーとの食事会